

JACLaS



10 年の歩み

JACLaS10 周年、そして未来へ



目次

ご挨拶	2
JACLaS 設立 10 周年に寄せて 一般社団法人 日本医療検査科学会 理事長 萱場広之 様	3
高木 由充 元理事長 (理事長在任期間：2013～2014年)	4
竹中 淳夫 元理事長 (理事長在任期間：2015～2017年)	5
残松 直樹 前理事長 (理事長在任期間：2018～2020年)	6
JACLaS EXPO 開催年表	7
出展企業アンケート	8
来場者アンケート	10
歴代理事	11
EXPO Photo	16
編集後記	18





JACLaS10 周年記念誌刊行に向けて

○ JACLaS10 周年

日本臨床検査機器・試薬・システム振興協会（JACLaS）は、臨床検査機器・試薬・システムの情報を医療機関、医療関係者に適切に提供し、臨床検査分野の発展と国民の医療と福祉に貢献することを目的に、一般社団法人として平成 24 年 10 月に設立され、以来、情報の発信、展示会の開催、国際協力の推進を主要な事業として活動して参りました。本年令和 3 年は設立来 10 周年の節目を迎える年となり、これを機として、JACLaS では 10 周年記念ロゴを作成し、各種情報発信活動を行っています。

JACLaS がここまで歩みを続けることが出来たのは、ひとえに会員企業の皆様、日本医療検査科学会をはじめとする諸学会の皆様、その他多くの関係者皆様によるご支援の賜物であり、ここに御礼申し上げます。

○ コロナ禍による昨年展示会の中止

JACLaS は、臨床検査機器・試薬・システムの総合展示会 JACLaS EXPO を事業の柱として毎年秋に開催しております。しかしながら昨年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、日本医療検査科学会と合同で立ち上げた感染症対策委員会における協議を続け、リアル現地開催の可能性をぎりぎりまで模索していましたが、結果として残念ながら展示開催の中止に至り、周年の歩みにおいて最も大きな出来事となりました。

学会で発表・参加予定だったかた、開催展示に向けて準備を進めてきた会場担当者や企業関係者の苦労と落胆は大きかったと思います。JACLaS 運営側でも大きな穴が空いたままでの年度クロージングとなりました。

○ リアル展示会へのこだわり

昨年は数多くの学会、展示会が Web 形式での開催への変更を余儀なくされ、日本医療検査科学会年度大会および JACLaS EXPO においても、学会オンライン開催や各社工夫を凝らした仮想展示の対応がそれぞれ行われました。これらは周囲環境の急激な変化により止む無く対応した側面もございましたが、一方で新しい学会運営、製品説明の現実的な手法としてここ一年で理解と移行が一気に進んだ感もあります。

その中で昨年のリアル展示中止判断に際して、医療機関、医療関係者の皆様からは、実物の製品を見たい、システム操作の説明を受けたい、試薬のことを詳しく聞きたい、一度にいろいろな製品を見たいなどのお声を、また企業の皆様からは製品をご来場の皆様にぜひご説明したい、触れていただきたいとのご意見を数多くいただきました。

昨年来、Web 展示会が数多く開催されていることは世の中の流れとして受け止める必要があることも認識しておりますが、その中でこれら多くのご要望に応えるべく、安全性の確保に最大の留意を払いつつ、JACLaS EXPO のリアル開催に拘り、その実現を今年度の大きな活動目標として各委員会が協力して進めて参りました。

○ 海外との交流復活

今回 10 周年記念行事として、日本医療検査科学会本大会会期中にグローバルな視点での記念講演を計画しています。今回のコロナ禍が、近い将来に医療の発展と医療従事者の皆様のご努力により世界的に早期に終息し、海外との交流が自由となり、活発な交流が復活することを祈念して開催しますので、会員企業の皆様はぜひご参加ください。

○ “JACLaS10 周年、そして未来へ”

JACLaS は今後も諸先輩方が築いてこられました想い、意思を引き継ぎ、透明性を高め、その歩みを止めることなくより発展するように本スローガンのもと、会員企業の皆さま、日本医療検査科学会はじめ関連団体の皆さまとともに未来に向かって進んでまいります。今後とも旧田の皆様のご支援とご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



2021 年（令和 3 年）10 月

一般社団法人日本臨床検査機器・試薬・システム振興協会（JACLaS）

理事長 関根 敏治

JACLaS 設立 10 周年に寄せて



一般社団法人 日本医療検査科学会
理事長 萱場広之 様

JACLaS 設立 10 周年に際しまして、日本医療検査科学会を代表し、心よりお祝いを申し上げます。我々は常に JACLaS とともに質の高い臨床検査と検査医学の発展に尽くしてまいりました。JACLaS が毎年開催する JACLaS EXPO は、日本最大級の検査機器展示を誇り、検査医学の現場に携わる皆様が最新のテクノロジーに触れる貴重な機会を提供しています。医療施設において質の高い医療を提供していくためには、つねに最新の検査技術・機器を知り、現場に還元していく必要があります。我々の学会会員および関係の皆様の多くが参加する日本医療検査科学会大会に合わせて JACLaS EXPO を開催していただき、様々な情報のご提供など、様々なご支援をいただき継続していただいております。改めて感謝申し上げます。

日本医療検査科学会は、1961 年にオートアナライザー研究会の設立に端を発し、時代の要請にこたえながら日本臨床検査自動化研究会、同学会を経て、現在の名称となっております。臨床検査領域において、我々の学会の関心の中心は自動分析、迅速化、精度の向上、ロボティクス、新しいテクノロジーの導入などにあることには変わりはありませんが、日本医療検査科学会は設立 50 周年を節目に、関心領域を拡張し、ラボラトリーサイエンスという広い海に漕ぎ出したところです。昨年から 1 年以上わたって新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっております。日本医療検査科学会は JACLaS EXPO と大会期日を同じくして開催し、最先端テクノロジーに触れ、様々な情報交換が行える大会および EXPO として毎年会員諸兄、関連企業の皆様からは、高い評価を得てまいりました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響でやむなくウェブ上のオンデマンド形式の開催となりました。例年の現地開催による学会と EXPO が関与する様々な催しや研修の場を提供する形式は取れませんでした。一方では職場にいながら、あるいはご自宅で参加できることや、現地開催では重ならないプログラムも網羅的に参加できるなどオンデマンド形式ならではの利点など気づかされることも多く、我々にとりましても大変貴重な経験となりました。大会直前まで JACLaS EXPO の同時開催に心を砕いてくださった残松前理事長はじめ、JACLaS の皆様には感謝と敬意を抱かずにはいられません。パンデミックによって PCR が注目され、検査医学、検査技術が大きな注目を集めました。検査医学の重要性や、世界の趨勢に遅れることなく最新のテクノロジーを導入していく重要性がこれまで以上に社会的にも認識されたことと思います。感染症検査室には迅速かつ大量検体処理が求められ、一気に感染症検査の改編が求められました。用手法が業務の中で圧倒的なボリュームを占めていた感染症検査領域は、近年の相次ぐ新テクノロジーによって転換点を迎えていることを実感いたしました。コロナ禍の中で台湾をはじめアジア諸国において IT による管理や迅速な PCR 検査などで成果を挙げた国々があり、アジア各国が新しいテクノロジーを積極的に取り入れている姿が印象に残りました。人口減少が続くわが国が世界で生き残り、貢献していくためには国際的な人的交流を図り、謙虚に学び、諸外国とともに発展していく必要があると感じています。私共の学会も JACLaS とともに国際的な視野を広げていければと願っています。一方、身近なところでは、病院や検査所のみではなく、一般市民が利用できる診断機器への需要も高まっています。サイエンスに裏打ちされた質の高い医療の提供のために、JACLaS と日本医療検査科学会がともに発展していくことを祈願し、JACLaS 設立 10 周年をお祝いしたいと思います。



高木 由充 元理事長

(理事長在任期間：2013～2014年)

この度、一般社団法人日本臨床検査機器・試薬・システム振興協会(JACLaS)が創立10周年を迎え、その節目の記念事業の一環として記念誌が発行されますことを心よりお祝い申し上げます。JACLaSは「臨床検査機器・試薬・システムの情報を医療機関、医療関係者に適切に提供し、臨床検査分野の発展と国民の医療と福祉に貢献すること」を目的として、2012年10月1日に設立されました。私は、設立時から約2年間、理事長を務めさせていただきました。何も判らない未熟者の私でしたが、当時の理事の皆様方に支えていただき、第1回のJACLaS展をパシフィコ横浜で開催し、多くのお客様をお迎えした時の感動は今も鮮明に覚えています。改めまして当時の関係者の皆さま方に御礼を申し上げます。

今年10周年を迎えられるとのことで、月日の流れの速さに驚かされると共に、当時の事を思い出しますと感慨無量です。その後も歴代の理事の皆さま方、毎年100社を超える出展企業の皆様方のご尽力により、本会が発展し続けていることに敬意を表します。

昨年から続くCOVID-19の蔓延により、我々のお客様である医療機関は大変な状況が続いています。昨年2020年度は残念ながらリアルな展示会の中止を余儀なくされました。まだ予断を許さない状況下ではありますが、今年こそは、我々の最先端技術を紹介できる貴重な場としてリアルな展示会の開催を切望するとともに、アフターコロナならではの新しい展示の形を見せて頂けることを楽しみにしております。

JACLaSは当初より、アジアナンバー1の展示会となる事を目標として、様々な国際化活動を行ってきました。AACCでの活躍を着ての広報活動は少し恥ずかしかったですが、良き思い出です。それら国際化活動の成果により年々海外からのお客様も増えているのを実感します。

日本の臨床検査技術、自動化、迅速化に関わる技術は世界最先端です。今後も協賛企業がお互い切磋琢磨して更なる日本の臨床検査の成長を世界に発信し続けましょう。私もまだ現役として、微力ながら貢献していく所存です。

最後にJACLaSと参加企業の皆さま、関連学会や団体の皆さま方の益々の発展を祈念し、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



医学と理工学の交差点「JACLaS EXPO」

JACLaS設立10周年おめでとうございます。また皆様におかれましてはコロナ禍の中、新しい生活様式に戸惑いながらお過ごしのことと拝察いたします。私は2015年から3年間理事長を拝任させていただきました竹中 淳夫（当時所属 日立ハイテクノロジーズ）です。この度寄稿の依頼をいただき当時を思い出すまま書き下ろしました。稚拙で雑駁なところ何卒お許し願います。

事務所の引越し

2015年初春、事務所を初訪問。笑顔で迎えてくれた川中 士郎 副理事長から「理事会は勿論、委員会の人数でさえ入りきらず毎回各社の会議室を借りているんです」とのこと。早速引越しを検討し2016年8月から床面積約2倍弱となる現事務所での業務が始まりました。

来場者と出展者、共に価値ある展示会場に

日本臨床検査自動化学会（現：日本医療検査科学会）が同時に開催されることで多くの先生方が展示会場に来場され、3日間で関係者含め延べ10,000名となりました。最前線の医療情報と最新の技術情報の意見交換を、製品に触れながらすることができ、製品改良と検査の進歩に繋がる価値ある場となりました。また先端技術との触れ合いとしてセグウェイ試乗会や3Dスキャナプリンタのデモを行いました。会場運営としては事前登録とバーコードによる入場者管理、製品一覧冊子のWeb化など効率化が図られました。海外からも多くの先生方や企業に参加してもらえようAACCとの交換ブース設置による広報活動を行い、約100名の海外からの参加者がありました。

共催シンポジウム

スマートフォンやネットワークの進化により、誰でも簡単にVRな世界や人工知能に触れることができる時代となりました。その進化は医療現場にも活用が始まっております。

前述学会の理事長であった九州大学病院 検査部部长 康 東天先生らと相談する中、このような先端技術をテーマにしたシンポジウムをJACLaSと学会で共催しようとなりました。2016年初回は、「医療・臨床検査におけるIoT；ビッグデータとAI」を、続く2017年は「ヘルスケア社会の急速な変化を直視する」のテーマで実施。新鮮な話題提供となりました。

また第29回世界病理臨床検査医学会連合会議 WASPaLMにおいては、AACC 出張セミナープログラムを活用した国際的な情報交換が先生方とともに行われました。

社会貢献

2016年4月熊本地域を襲う大地震は多くの犠牲者と被害を与えました。何か復興支援の一助が行えないかと熊本県側と相談。事前登録いただいた先生方に「くまモン」グッズを配り寄附を行いました。EXPO当日は、くまモンが来場し大いに会場を賑わしてくれました。

コンプライアンスの徹底

EXPOでの行動・展示ルールの徹底、関係学会や業界団体との交流におけるコンプライアンス重視の透明性ある活動を行いました。

最後に

機器・試薬・システム各社および学会の先生方からは、共に発展することへの期待と熱意をいただきました。3年間支えて下さった副理事、理事、監事、事務局、関係学会の先生方への御礼を申し上げます。

先が見えず実行が難しい今後のEXPOですが、現 JACLaS メンバーの更なるご活躍に期待し結びの言葉にいたします。

「PCR検査」という我々の専門用語がマスコミで連呼される今日は想像もつきませんでした。

検査の社会的責任は益々重なり、国民から期待されております。

先生方、産業界共に英知のタッグを組み、一刻も早くコロナ解決とならんことを切望し、お祈り致します。

以 上

さらなる活動が業界の発展につながることを心より祈念いたします。



残松 直樹 前理事長

(理事長在任期間：2018～2020年)

このたびの一般社団法人日本臨床検査機器・試薬・システム振興協会（JACLaS）創立 10 周年に際し、ご挨拶を申し上げます。まず、コロナ禍において多大なご尽力をなされておられます医療従事者の方々に厚く御礼申し上げます。また日頃より、ご後援いただいております一般社団法人日本医療検査科学会、一般社団法人日本検査医学会ならびに、会員会社の皆様、関係団体、そして JACLaS の運営に携わってくださる理事会社及び会場関係者、関係会社の皆様のおかげをもちまして、今ここに創立 10 周年を迎えることができましたこと、感謝の念に堪えません。

さて、現在の臨床検査業界はプラス成長で推移しておりますが、既に日本の人口は減少に転じており、2025 年には少子高齢化による社会保障費の増大に直面します。30 年後の人口は 1 億人を割ることが予測されており、少なくとも日本国内においては検査対象となる人口が現状から 2 割以上減少し、減少分の医療資源を有効に社会的意義の高い活動にどのように転換していくのが命題となっております。その解の一つとして日本再興戦略では、我が国の優れた医療技術・サービスの国際展開を通じ、①世界各国が抱える社会課題の解決に貢献し②拡大するヘルスケア分野の需要・市場を取り込んでいくことが必要と結論づけています。あるシンクタンクの分析によると、医用検体検査機器の輸出はこの 10 年間で 2.7 倍に増加しており日本の優位性がデータとして証明されています。

在任中は、それら社会課題に対し JACLaS の在り方もより柔軟性をもって変化していかなければならないと考え、活動を行って参りました。

勿論、国内の医療従事者の方々のご来場を最重要視する方針には何ら変わりはありませんが、JACLaS の予てからの懸案事項であった国際協力の推進に方向性を見出すべく、今後経済成長が見込まれるアジア各国の学会・展示会を訪問し、現地の臨床検査に携わるオピニオンとなる先生方と情報交換を行いました。その交流を通じ、日本の臨床検査機器に対する関心は高く、日本の展示会で最新機器に触れ直接説明を受けたい、また日本の優れた技術を有する臨床検査室を見学したいとの声が聞かれました。一方で日本との交流や、医療機器等の情報提供活動におけるエビデンスとなる学術論文など、ソフト面の整備が欧米のそれと比較して不十分であることが指摘されました。

これらの事実をもとに JACLaS の国際協力について理事会に諮り、国際協力とは JACLaS EXPO に海外からより多くのお客様にお越しいただける国際展示会にもち上げることと定義しました。実現には、産学によるソフト面の充実を推進し、英語で広く海外に発信することを目的とした協力が不可欠となります。長期的な展望に立ち JACLaS EXPO の会期中に産学交流できる場として合同交流会を立ち上げ、会場案内資料や展示ブースへの英語表記、海外からの研修生の見学の受け入れ、海外学会とのミーティングへの参加、IVD-MD マーケティングセミナー、JACLaS AWARD の設立などの新たな取り組みにより整備を進めて参りました。

昨年度は残念ながら COVID-19 の影響によって JACLaS EXPO の開催の中止を余儀なくされましたが、産学で取り組んだ感染症対策委員会の共同開催と感染症対策ガイドライン作成に加え、国際交流活動として医療技術等国際展開推進事業へ国産医療機器に関する資料動画提供を行い連携を図ることができました。

最後となりますが、現代の VUCA といわれる不安定で不確かな時代に挑戦する決意の現われとしまして、2019 年に新たなシンボルマークを制定しております。このシンボルマークは、JACLaS の頭文字の「J」、そして臨床検査データの正確性、正しい検査を表わす「チェックマーク」をベースとして、進化・向上を表現したデザインになっています。また、JACLaS のロゴデザインは、シンボルマークと合わせて、臨床検査の先進性を表現しています。このシンボルマークを旗印に JACLaS EXPO をこれからも「活気溢れる展示会」として成長させ、加えまして諸先輩方が築いてこられた自主独立の初志を引き継がれ、透明性を高め、ひいては本領域の発展に寄与されることを祈念してご挨拶に代えさせていただきます。

JACLaS EXPO 開催年表

開催年	開催場所	開催日程	出展社数	出展小間数	来場者数	JACLaS の主な活動
2012	パシフィコ横浜	10/11-13	73	369	7,246	・ JACLaS 設立 ・ 展示会名を臨床検査機器・試薬 EXPO2012 と して改称し開催
2013	パシフィコ横浜	10/10-12	94	526	7,881	・ 海外からの来場者向け無料アテンドツアー実施 ・ AACC へ JACLaS としてブース初出展
2014	神戸国際展示場	10/9-11	85	553	6,167	
2015	パシフィコ横浜	10/8-10	114	584	10,265 (内、海外来場者数 206 名)	・ バーコード受付開始
2016	パシフィコ横浜	9/22-24	105	612	10,017	・ 日本臨床検査自動化学会との 共催シンポジウム開催 ・ 来場者事前登録開始
2017	パシフィコ横浜	9/21-23	117	704	10,291 (内、海外来場者数 145 名)	・ ホームページリニューアル ・ 日本臨床検査自動化学会との 共催シンポジウム開催 ・ expo にくまモン招待
2018	神戸国際展示場	10/11-13	103	703	8,809	・ ホームページデザイン変更 ・ 合同交流会開催 ・ 来場者スタンプラリー開催 ・ 日本臨床検査自動化学会 50 周年記念展示開催
2019	パシフィコ横浜	10/3-5	123	703	10,425 (内、海外来場者数 227 名)	・ JACLaS Award 設立 ・ マーケティングセミナー ・ JACLaS 新ロゴ作成 ・ RFID による来場者管理導入
2020	パシフィコ横浜	9/24-26	日本臨床検査自動化学会が日本医療検査科学会へ改称 Web 開催 EXPO 中止			
2021	パシフィコ横浜	10/8-10	110	637	JACLaS10 周年記念講演	

出展企業アンケート

問 1 - 1 貴社にとって JACLaS EXPO への出展は有益でしたか？

	2015	2016	2017	2018	2019
大変有益であった	14	20	19	19	16
有益であった	40	30	39	35	56
普通だった	10	7	13	7	12
有益でなかった	2	1	0	2	1
わからない	1	0	1	1	1

問 1 - 2 その理由として該当するものに✓を入れてください。

1. 来場者数

	2015	2016	2017	2018	2019
期待以上	10	8	3	3	3
期待通り	46	37	55	44	67
期待以下	18	11	6	10	8
どちらとも言えない	6	7	8	7	8

2. 自社小間来客数

	2015	2016	2017	2018	2019
期待以上	9	13	4	15	14
期待通り	40	29	45	33	47
期待以下	12	12	18	11	15
どちらとも言えない	6	4	4	5	10

3. 出展の成果（複数回答可）

	2015	2016	2017	2018	2019
具体的な成果を得られた	24	26	27	29	32
市場動向やニーズが掴めた	28	24	24	16	26
情報交換ができた	43	35	62	59	76
有益な情報を得られた	19	18	22	20	26

4. 小間代

	2015	2016	2017	2018	2019
リーズナブル（安い）	28	19	0	1	2
妥当	-	-	48	42	60
高い	12	15	16	11	11
どちらとも言えない	27	24	6	9	13

問 2 - 1 来年の出展予定をお聞かせください。

	2015	2016	2017	2018	2019
出展する	35	35	39	40	49
出展を検討する	21	18	23	21	35
今はわからない	7	3	9	2	2
出展しない	3	1	1	1	0

問 2 - 2 来年の出展を予定している場合、今年と比べてブースのサイズをどうするかお聞かせください。

	2015	2016	2017	2018	2019
同規模	39	36	37	42	57
大きくする	7	3	5	4	7
小さくする	3	0	3	1	3
今はわからない	17	18	25	17	17

※ 集計表の値は回答数

問 3 - 1 今年の展示会場全体の雰囲気についてご感想・ご意見をお聞かせください。

	2015	2016	2017	2018	2019
大変良かった	8	5	6	5	7
良かった	40	37	42	36	44
普通だった	18	12	18	21	28
どちらとも言えない	2	3	3	2	7
良くなかった	0	1	3	0	0

問 3 - 2 その理由として該当するものに✓を入れてください。

1. 小間位置

	2015	2016	2017	2018	2019
良かった	47	43	41	45	56
良くなかった	12	14	21	13	17

2. 大 / 小規模の小間配置（複数回答可）

	2015	2016	2017	2018	2019
良かった	36	44	43	41	58
良くなかった	1	3	5	5	2
配置に工夫が必要	21	7	16	15	12

3. 音量・プレゼンについて

	2015	2016	2017	2018	2019
近隣の音が大きかった	8	8	8	13	11
音量を大きくして迷惑をかけた	1	0	2	1	1

問 3 - 3 今回展示企画で継続した方がよいと思う項目に✓を入れてください。（複数回答可）

	2015	2016	2017	2018	2019
バーコード受付	29	36	43	42	42
フリーストックススペース	27	27	33	38	56
ドリンクコーナー	50	44	-	-	-
Wi-Fi コーナー	35	30	24	51	-
集客アトラクション(3D 写真)	15	6	-	-	-
自動化学会参加証引換券	38	32	-	-	-
提出書類システム	-	36	-	-	-
バーコードによる来場者情報提供	-	43	46	-	-

問 4 今回ブースの抽選にあたって、小間数によりサイズ分けをした抽選としましたが、それについてご意見をお聞かせください。

	2015	2016	2017	2018	2019
大変良かった	3	8	8	5	6
良かった	23	23	19	28	30
普通だった	19	15	32	22	32
どちらとも言えない	15	10	11	9	17
良くなかった	6	1	2	1	1

問 5 搬入出について、ご感想・ご意見をお聞かせください。

1. 搬入時間について

	2015	2016	2017	2018	2019
満足	30	17	18	23	20
普通	35	37	45	32	58
不満	2	4	9	9	8

2. 搬出時間について

	2015	2016	2017	2018	2019
満足	25	14	16	21	13
普通	36	36	49	38	56
不満	5	8	7	5	17

問 6 「製品一覧」は過去には受付で来場者に手渡ししていましたが、ホームページへの PDF 掲載や、検索サイトの設置に伴い、現在は自由に取ってもらう形式になっています。これについてご意見をお聞かせください。

1. 内容について

	2015	2016	2017	2018	2019
満足	26	17	20	16	21
普通	40	39	48	47	62
不満	1	1	4	1	3

2. 自由に取ってもらう形式について

	2015	2016	2017	2018	2019
問題ない	65	56	67	64	84
好ましくない	1	1	5	0	2

問 7 「提出書類」について、これまでは FAX、またはメールにてご提出いただいておりますが、専用ページにアクセスし、入力していただく形としました。これについて、ご意見をお聞かせください。

1. 専用ページの使いやすさ

	2015	2016	2017	2018	2019
満足	-	24	28	25	25
普通	-	32	42	38	55
不満	-	1	2	2	6

2. 今後もウェブで入力することについて

	2015	2016	2017	2018	2019
問題ない	-	57	70	64	84
好ましくない	-	0	2	1	2

問 8 今回、控室を借りた企業の方だけにご質問します。控室についてご意見をお聞かせください。

	2015	2016	2017	2018	2019
大変良かった	5	3	0	3	2
良かった	5	5	0	6	8
普通だった	5	4	2	5	8
どちらとも言えない	0	2	0	3	2
良くなかった	0	0	0	3	0

控室の場所

	2015	2016	2017	2018	2019
展示会場内	3	4	6	-	
常設控室	11	10	14	-	23

問 9 「来場者情報提供サービス」についてお聞きます。「来場者情報提供サービス」を利用しましたか。

	2015	2016	2017	2018	2019
プラン A を利用した	-	29	28	29	33
プラン B を利用した	-	13	18	18	28
プラン C を利用した	-	2	3	3	7
利用しなかった	-	13	23	15	18

1. プラン A、B、C を利用された方にお聞きます。利用された感想をお聞かせください。

	2015	2016	2017	2018	2019
大変役に立った	-	5	8	9	8
役に立った	-	22	28	33	40
あまり役に立たなかった	-	7	5	4	9
どちらともいえない	-	7	6	3	10
わからない	-	3	2	1	1

2. 改善して欲しい点はなんですか（複数回答可）。

	2015	2016	2017	2018	2019
価格	-	16	19	48	37
登録内容の提供項目	-	24	28	48	20
操作性	-	6	11	49	34
アンケート機能の充実	-	12	13	49	12

3. 利用されなかった方にお聞きます。利用しなかった理由をお聞かせください。（複数回答可）

	2015	2016	2017	2018	2019
費用が高い	-	4	8	7	7
必要性を感じない	-	8	14	9	12
名刺が欲しい	-	4	7	2	4
来場者登録データの信用性	-	1	1	2	1

問 10 今回、入場について事前登録システムを導入しました。事前登録の利用についてお聞かせください。

1. 事前登録についてクライアントに紹介していただけましたか。

	2015	2016	2017	2018	2019
はい	-	33	54	45	63
いいえ	-	25	18	20	23

問 11 問 10 でいいえと答えた方に質問します。利用しなかった理由は何ですか。

	2015	2016	2017	2018	2019
知らなかった	-	5	5	5	2
登録方法がわからなかった	-	5	1	1	1
必要なかった	-	14	12	14	20

問 12 日本臨床検査自動化学会と共催シンポジウムについてお尋ねします。
1. JACLaS EXPO 開催前から共催シンポジウムの開催をご存知でしたか。

	2015	2016	2017	2018	2019
はい	-	38	47	57	68
いいえ	-	20	25	8	18

2. 会社でどなたか参加されましたか。

	2015	2016	2017	2018	2019
はい	-	21	26	27	26
いいえ	-	33	46	38	60

来場者アンケート

来場者セグメント（ユーザー）（事前登録）

	2017	2018	2019
病院	2098	2090	2281
検査センター	561	394	488
健診（検診）施設	90	58	75
医学研究機関	68	43	81
製薬会社・CRO	40	36	73
薬局	4	2	3
その他	163	92	183
無回答	467	485	248

来場者の目的（事前登録）

	2017	2018	2019
機器 - 選定	966	995	957
機器 - 情報収集	5684	4959	6463
試薬 - 選定	302	329	405
試薬 - 情報収集	3640	3282	4904
システム - 選定	227	247	349
システム - 情報収集	3365	3106	4845
その他	279	209	279

興味のある分野（事前登録）

	2017	2018	2019
生化学検査	1799	1848	4073
免疫検査	1713	1814	3695
血液検査	1439	1549	3194
細菌検査	686	714	1605
一般検査	935	1010	2049
病理検査	374	429	849
POCT	848	923	1838
生理機能検査	397	402	748
情報システム	923	1017	1791
自動化システム	1128	1190	2337
前処理システム	713	740	1349
遺伝子検査	742	836	1741
その他	97	91	163

来場者年齢（事前登録）

	2017	2018	2019
20 歳代以下	1144	967	1150
30 歳代	1516	1384	1597
40 歳代	1969	1687	1993
50 歳代	2095	1765	2042
60 歳代以上	508	453	645
無回答	555	112	432
合計	7787	6256	7427

来場回数（事前登録）

	2017	2018	2019
はじめて	2279	2272	2554
2 回	983	877	1074
3 回以上	3549	3079	3788
無回答	976	140	443
合計	7787	6228	7416

勤務地

	2017	2018	2019
北海道	118	110	94
青森県	22	10	26
秋田県	23	14	21
岩手県	35	22	76
宮城県	85	66	14
山形県	21	13	21
福島県	48	14	42
茨城県	255	87	237
栃木県	132	36	144
群馬県	88	26	102
埼玉県	375	95	387
千葉県	288	100	314
東京都	2712	912	2698
神奈川県	969	185	924
新潟県	83	48	81
富山県	41	26	28
石川県	57	61	59
福井県	27	36	25
山梨県	43	14	40
長野県	113	65	99
岐阜県	33	43	41
静岡県	169	116	234
愛知県	226	244	237
三重県	37	39	37
滋賀県	38	78	33
京都府	155	281	121
大阪府	331	885	343
兵庫県	183	877	192
奈良県	29	74	21
和歌山県	18	60	30
鳥取県	18	28	14
島根県	13	20	8
岡山県	60	112	49
広島県	84	161	88
山口県	31	35	28
徳島県	14	36	8
香川県	26	48	25
愛媛県	30	51	32
高知県	17	38	9
福岡県	114	152	140
佐賀県	16	15	9
長崎県	22	15	15
熊本県	38	40	30
大分県	16	22	15
宮崎県	17	16	17
鹿児島県	24	26	30
沖縄県	23	19	32
海外		114	165
無回答	470	783	424
合計	7787	5585	7435

設立時代代表理事 (2012年)

川中士郎 (日本電子)

設立時理事

葛西猛 (アボットジャパン)

金子彰紀 (ベックマン・コールター)

井上淳 (テクノメディカ)

渡邊達久 (エイアンドティー)

鶴長裕一 (富士レビオ)

設立時監事

大岩真一 (アークレイマーケティング)

中村祥作 (アイディエス)



2013 年

〈理事長〉	〈副理事〉	〈常務理事〉	〈展示委員会〉		〈情報発信委員会〉		〈渉外委員会〉	〈国際化推進委員会〉	〈監事〉
高木由充 (日立ハイテク)	川中士郎 (日本電子)	渡邊達久 (エイアンドティー)	渡邊達久○ (エイアンドティー)	川中士郎 (日本電子)	大田清典○ (日立製作所)	井上淳 (テクノメディカ)	林修一○ (ロシュ・ダイアグノスティックス)	葛西猛○ (アボットジャパン)	中村祥作 (アイディエス)
	葛西猛 (アボットジャパン)	大田清典 (日立製作所)	鶴長裕一 (富士レビオ)	二木研輔 (東ソー)	原克之 (デンカ)	大岩真一 (アークレイマーケティング)	合田隆 (シスメックス)	三好直 (ディバジャパン)	遠藤英夫 (シーメンスヘルスケア・ ダイアグノスティックス)
		林修一 (ロシュ・ダイアグノスティックス)	河端俊彦 (キヤノンメディカル システムズ)	山田幹生 (ミナリスメディカル株式会社)			野口典久 (栄研化学)	奥成博 (堀場製作所)	
			金子彰紀 (ベックマン・コールター)				金子大 (カイノス)		

2014 年

〈理事長〉	〈副理事〉	〈常務理事〉	〈展示委員会〉		〈情報発信委員会〉		〈渉外委員会〉	〈国際化推進委員会〉	〈監事〉
高木由充 (日立ハイテク)	川中士郎 (日本電子)	渡邊達久 (エイアンドティー)	渡邊達久○ (エイアンドティー)	川中士郎 (日本電子)	大田清典○ (日立製作所)	井上淳 (テクノメディカ)	合田隆○ (シスメックス)	林修一○ (ロシュ・ダイアグノスティックス)	中村祥作 (アイディエス)
	林修一 (ロシュ・ダイアグノスティックス)	大田清典 (日立製作所)	鶴長裕一 (富士レビオ)	二木研輔 (東ソー)	原克之 (デンカ)	残松直樹 (アークレイマーケティング)	金子大 (カイノス)	三好直 (ディバジャパン)	遠藤英夫 (シーメンスヘルスケア・ ダイアグノスティックス)
		合田隆 (シスメックス)	河端俊彦 (キヤノンメディカル システムズ)	山田幹生 (ミナリスメディカル株式会社)			野口典久 (栄研化学)	岡寛 (アボットジャパン)	
			金子彰紀 (ベックマン・ コールター)				馬場幸雄 (LSI メディエンス)	杉山庸子 (堀場製作所)	

2015 年

〈理事長〉	〈副理事〉	〈常務理事〉	〈展示委員会〉		〈情報発信委員会〉		〈渉外委員会〉	〈国際化推進委員会〉	〈監事〉
竹中淳夫 (日立ハイテク)	川中士郎 (日本電子)	渡邊達久 (エイアンドティー)	渡邊達久○ (エイアンドティー)	川中士郎 (日本電子)	大田清典○ (日立製作所)	井上淳 (テクノメディカ)	合田隆○ (シスメックス)	林修一○ (ロシュ・ダイアグノスティックス)	中村祥作 (アイディエス)
	林修一 (ロシュ・ダイアグノスティックス)	大田清典 (日立製作所)	鶴長裕一 (富士レビオ)	二木研輔 (東ソー)	原克之 (デンカ)	残松直樹 (アークレイマーケティング)	野口典久 (栄研化学)	岡寛 (アボットジャパン)	金子大 (カイノス)
		合田隆 (シスメックス)	黒田清宏 (キヤノンメディカル システムズ)	越川洋 (ミナリスメディカル株式会社)			馬場幸雄 (LSI メディエンス)	杉山庸子 (堀場製作所)	
			三澤理一 (ベックマン・ コールター)				長塚晴彦 (シーメンスヘルス ケア・ダイアグノスティックス)		

2016 年

〈理事長〉	〈副理事〉	〈常務理事〉	〈展示委員会〉		〈情報発信委員会〉		〈渉外委員会〉	〈国際化推進委員会〉	〈監事〉
竹中淳夫 (日立ハイテク)	川中士郎 (日本電子)	渡邊達久 (エイアンドティー)	渡邊達久○ (エイアンドティー)	川中士郎 (日本電子)	大田清典○ (日立製作所)	渡邊孝祐 (積水メディカル)	井上淳○ (テクノメディカ)	林修一○ (ロシュ・ダイアグノスティックス)	金子大 (カイノス)
	林修一 (ロシュ・ダイアグノスティックス)	大田清典 (日立製作所)	鶴長裕一 (富士レビオ)	二木研輔 (東ソー)	中村祥作 (アイディエス)	中村将人 (デンカ)	井上歩 (LSI メディエンス)	岡寛 (アボットジャパン)	残松直樹 (アークレイマーケティング)
		井上淳 (テクノメディカ)	黒田清宏 (キヤノンメディカル システムズ)	越川洋 (ミナリスメディカル株式会社)			井上猛 (シーメンスヘルスケア・ ダイアグノスティックス)	杉山庸子 (堀場製作所)	
			高橋朋良 (栄研化学)	寛和久 (シスメックス)				三澤理一 (ベックマン・コールター)	

2017 年

〈理事長〉	〈副理事〉	〈常務理事〉	〈展示委員会〉		〈情報発信委員会〉		〈渉外委員会〉	〈国際化推進委員会〉	〈監事〉
竹中淳夫 (日立ハイテク)	川中士郎 (日本電子)	渡邊達久 (エイアンドティー)	渡邊達久○ (エイアンドティー)	川中士郎 (日本電子)	大田清典○ (日立製作所)	渡邊孝祐 (積水メディカル)	井上淳○ (テクノメディカ)	林修一○ (ロシュ・ダイアグノスティックス)	残松直樹 (アークレイマーケティング)
	林修一 (ロシュ・ダイアグノスティックス)	大田清典 (日立製作所)	鶴長裕一 (富士レビオ)	黒田裕司 (シスメックス)	中村祥作 (アイディエス)	中村将人 (デンカ)	井上歩 (LSI メディエンス)	岡寛 (アボットジャパン)	長津行宏 (カイノス)
		井上淳 (テクノメディカ)	黒田清宏 (キヤノンメディカル システムズ)	越川洋 (ミナリスメディカル株式会社)			井上猛 (シーメンスヘルスケア・ ダイアグノスティックス)	杉山庸子 (堀場製作所)	
			高橋朋良 (栄研化学)	合津俊一 (東ソー)				三澤理一 (ベックマン・コールター)	

※ 全社名は2021年7月現在で記載
※ ○は委員長





2018 年

〈理事長〉 残松直樹 (アークレイマーケティング)	〈副理事〉 川中士郎 (日本電子)	〈常務理事〉 岡寛 (アボットジャパン)	〈展示委員会〉 黒田裕司○ (シスメックス)	川中士郎 (日本電子)	〈情報発信委員会〉 黒田清宏○ (キヤノンメディカルシステムズ)	渡邊孝祐 (積水メディカル)	〈渉外委員会〉 井上淳○ (テクノメディカ)	〈国際化推進委員会〉 岡寛○ (アボットジャパン)	〈監事〉 長津行宏 (カイノス)
	井上淳 (テクノメディカ)	黒田清宏 (キヤノンメディカルシステムズ)	関根敏治 (エイアンドティー)	藤野暢幸 (ベックマン・コールター)	中村祥作 (アイディエス)	大田清典 (日立製作所)	井上歩 (LSI メディエンス)	杉山庸子 (堀場製作所)	鶴長裕一 (富士レビオ)
		黒田裕司 (シスメックス)	越川洋 (ミナリスメディカル株式会社)	高橋朋良 (栄研化学)	工藤僚康 (デンカ)		糸屋英俊 (シーメンスヘルスケア・ ダイアグノスティクス)	三浦 哲男 (日立ハイテク)	
			合津俊一 (東ソー)					小松弘幸 (ロシュ・ダイアグノス ティックス)	

2019 年

〈理事長〉 残松直樹 (アークレイマーケティング)	〈副理事〉 川中士郎 (日本電子)	〈常務理事〉 岡寛 (アボットジャパン)	〈展示委員会〉 黒田裕司○ (シスメックス)	川中士郎 (日本電子)	〈情報発信委員会〉 黒田清宏○ (キヤノンメディカルシステムズ)	渡邊孝祐 (積水メディカル)	〈渉外委員会〉 井上淳○ (テクノメディカ)	〈国際化推進委員会〉 岡寛○ (アボットジャパン)	〈監事〉 長津行宏 (カイノス)
	井上淳 (テクノメディカ)	黒田清宏 (キヤノンメディカルシステムズ)	関根敏治 (エイアンドティー)	藤野暢幸 (ベックマン・コールター)	工藤僚康 (デンカ)	日高淳 (アイディエス)	井上歩 (LSI メディエンス)	杉山庸子 (堀場製作所)	鶴長裕一 (富士レビオ)
		黒田裕司 (シスメックス)	越川洋 (ミナリスメディカル株式会社)	高橋朋良 (栄研化学)	八須賀淳 (日立製作所)		糸屋英俊 (シーメンスヘルスケア・ ダイアグノスティクス)	三浦 哲男 (日立ハイテク)	
			合津俊一 (東ソー)					小松弘幸 (ロシュ・ダイアグノス ティックス)	

2020 年

〈理事長〉 残松直樹 (アークレイマーケティング)	〈副理事〉 川中士郎 (日本電子)	〈常務理事〉 岡寛 (アボットジャパン)	〈展示委員会〉 黒田裕司○ (シスメックス)	川中士郎 (日本電子)	〈情報発信委員会〉 黒田清宏○ (キヤノンメディカルシステムズ)	渡邊孝祐 (積水メディカル)	〈渉外委員会〉 井上淳○ (テクノメディカ)	〈国際化推進委員会〉 岡寛○ (アボットジャパン)	〈監事〉 長津行宏 (カイノス)
	井上淳 (テクノメディカ)	黒田清宏 (キヤノンメディカルシステムズ)	関根敏治 (エイアンドティー)	藤野暢幸 (ベックマン・コールター)	八須賀淳 (日立製作所)	樋口康浩 (日立ハイテク)	井上歩 (LSI メディエンス)	杉山庸子 (堀場製作所)	永田淳 (富士レビオ)
		黒田裕司 (シスメックス)	乗浜弘之 (栄研化学)	土屋滋夫 (東ソー)	工藤僚康 (デンカ)	日高淳 (アイディエス)	糸屋英俊 (シーメンスヘルスケア・ ダイアグノスティクス)	小松弘幸 (ロシュ・ダイアグノス ティックス)	
			西岡達央 (ミナリスメディカル株式会社)						

2021 年

〈理事長〉 関根敏治 (エイアンドティー)	〈副理事〉 川中士郎 (日本電子)	〈常務理事〉 土屋滋夫 (東ソー)	〈展示委員会〉 土屋滋夫○ (東ソー)	川中士郎 (日本電子)	〈情報発信委員会〉 黒田清宏○ (キヤノンメディカルシステムズ)	宮崎実 (積水メディカル)	〈渉外委員会〉 井上歩○ (LSI メディエンス)	〈国際化推進委員会〉 岡寛○ (アボットジャパン)	〈監事〉 糸屋英俊 (シーメンスヘルスケア・ ダイアグノスティクス)
	八須賀淳 (日立製作所)	黒田清宏 (キヤノンメディカルシステムズ)	阿部光成 (アークレイマーケティング)	藤野暢幸 (ベックマン・コールター)	八須賀淳 (日立製作所)	樋口康浩 (日立ハイテク)	井上淳 (テクノメディカ)	杉山庸子 (堀場製作所)	小山靖 (富士レビオ)
		井上歩 (LSI メディエンス)	乗浜弘之 (栄研化学)	西岡達央 (ミナリスメディカル株式会社)	工藤僚康 (デンカ)	日高淳 (アイディエス)	長津行宏 (カイノス)	小松弘幸 (ロシュ・ダイアグノス ティックス)	

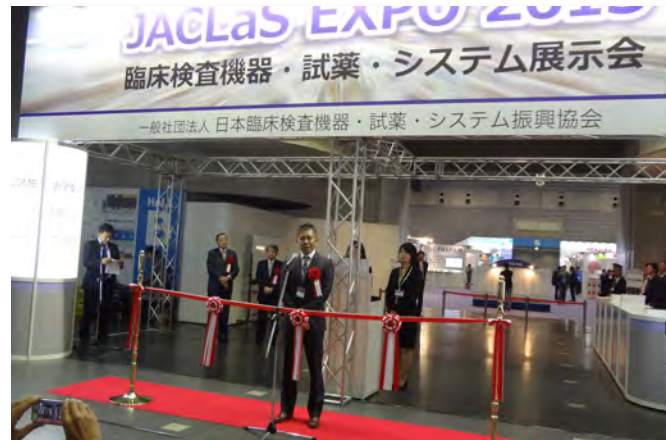
EXPO Photo

2012



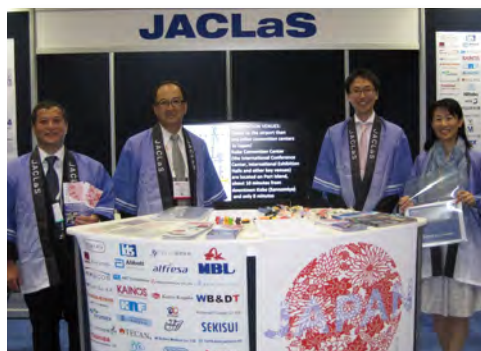
★ JACLaS 設立初回 EXPO

2013



★初代理事長挨拶

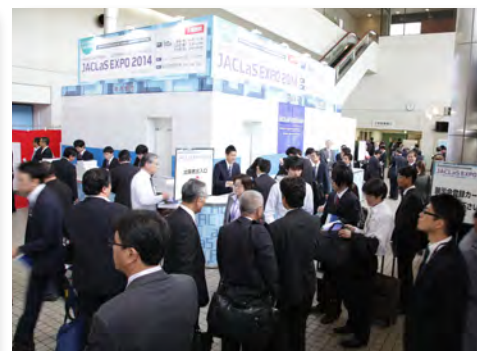
2014



★ AACC への出展



★海外来場者への対応



★受付風景

2015



★会場風景



★ JACLaS 総会 & 出展募集説明会

2016



★バーコード受付



★会場風景



★学会との共催シンポジウム開催

2017

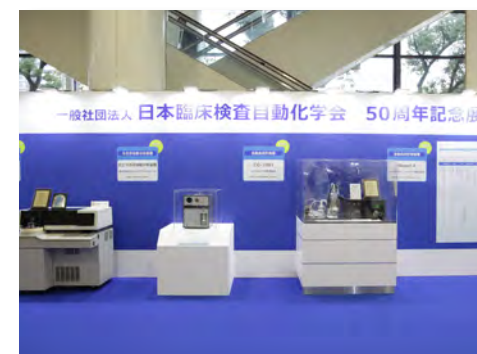


★くまモン来場



★熊本地震復興支援活動

2018



★日本臨床検査自動化学会 50周年記念事業

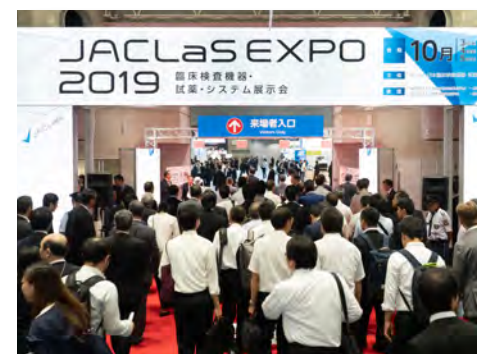


★合同交流会開催



★スタンプラリー開催

2019



★RFIDによりスムーズな入場



★ JACLaS Award



★会場風景

編集後記

JACLaS が設立 10 年になります。十年一昔と言いますが、特に昨今のコロナ禍、それに対応した世の中の動きを見ると、10 年の時の流れを強く感じます。

猛威をふるう新型コロナウイルスですが、PCR 検査や抗原検査などのことが毎日のように報道され、一般の方々が臨床検査というものを身近に感じるようになってきていると思いますし、ワクチンの打ち手として臨床検査技師という仕事の認知度が上がるなどがありますので、我々にとっては悪いことばかりではないと考えて元気にやっていきましょう。

さて、JACLaS は設立からリアル展示会の開催を主な事業にしてきましたが、コロナ禍を受けて一部業界にはバーチャル展示会を志向する動きもあります。この冊子は設立から 10 年の動きを整理したものでもありますので、この冊子をめぐりつつ JACLaS の次の 10 年に思いを巡らせてくだされば幸いです。

(川中)

編集

(10 周年記念プロジェクト)

井上 歩

関根 敏治

川中 士郎

杉山 庸子

八須賀 淳

(情報発信委員会)

黒田 清宏

工藤 僚康

日高 淳

樋口 康浩

宮崎 実

発行年 / 2021 年 9 月

発行 / 一般社団法人 日本臨床検査機器・試薬・システム振興協会 (JACLdS)

〒 113-0033 文京区本郷 3-18-1 奈良部ビル 5F

電 話 : 03-3830-0920

FAX : 03-3830-0921

